

性感染症（STI）患者定点 マニュアル

2026年6月

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課
（東京都感染症情報センター）

目次

性感染症（STI）定点医療機関の報告手順.....	2
報告基準.....	4
1 性器クラミジア感染症.....	4
2 性器ヘルペスウイルス感染症.....	5
3 尖圭コンジローマ.....	6
4 淋菌感染症.....	7
5 膣トリコモナス症.....	8
別添1 感染症サーベイランスシステム定点報告入力時の留意事項.....	9
別添2 （FAXの場合）報告様式及び記入例.....	11

性感染症（STI）定点医療機関の報告手順

報告内容

貴医療機関で診断した性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症、膣トリコモナス症（都単独）、の患者数を年齢別、男女別に集計してください。

報告基準は、4ページから8ページを参照してください。

報告単位

1日から月末までの1か月を単位とします。

報告時期及び方法

当該月の最終日の診療が終了しましたら、以下のいずれかの方法で管轄保健所へ報告してください。

(1) 感染症サーベイランスシステムへの直接入力

9、10ページを参照し、システムに入力してください。

※感染症法改正により、令和5年4月1日から感染症発生届等については、感染症サーベイランスシステム上での報告が努力義務化されています。

- 東京都保健医療局「感染症サーベイランスシステムについて」
(ユーザーアカウントの申請・システム入力時の留意事項等)

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/taisaku/kansensyo_system_information

(2) (1)の方法により報告できない場合は、管轄保健所へのFAXによる報告
11ページの報告用紙に記入してください。記入例は、12、13ページを参照してください。

※報告の具体的な方法は、管轄保健所の示す方法により行ってください。

留意事項

当該患者がいない月や、休診時の報告方法は、以下のとおりとしてください。

(1) 感染症サーベイランスシステムによる報告の場合

ア 医療機関は稼働していたが、当該患者がいない場合

全て「0」を入力するか、空欄のまま登録ボタンを押下してください。

イ 休診により、当該月に診察を行えなかった場合

システム上での登録は行わず、未登録としてください。

また、管轄保健所に「〇月〇日～〇月〇日は全日休診のため、未登録としている」旨をご連絡ください。

(保健所では、システムの仕様上、入力漏れであるか、全日休診により未登録であるかの判別ができないため。)

(2) FAXによる報告の場合

ア 医療機関は稼働していたが、当該患者がいない場合

記入欄に、「全て0件」と記入してください。詳細は、13 ページの記入例を参照してください。

イ 休診により、当該月に診察を行えなかった場合

管轄保健所に「当該月はすべて休診だった」旨をご連絡いただくか、記入欄に「〇月〇日～〇月〇日全日休診」と記入してください。

情報の集計及び還元

定点医療機関からのデータは、保健所を通じて、都及び国に報告されます。集計結果は東京都感染症情報センターおよび国立健康危機管理研究機構の下記のホームページで公表され、定点医療機関にも還元されます。

- 東京都感染症情報センター <https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>
- 国立健康危機管理研究機構 <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

報告基準

※厚生労働省通知に基づく届出基準
(5は都単独)

1 性器クラミジア感染症

(1) 定義

Chlamydia trachomatis による性感染症である。

(2) 臨床的特徴

男性では、尿道から感染して急性尿道炎を起こすが、症状は淋菌感染症よりも軽い。さらに、前立腺炎、精巣上体炎を起こすこともある。女性では、まず子宮頸管炎を起こし、その後、感染が子宮内膜、卵管へと波及し、子宮内膜炎、卵管炎、骨盤内炎症性疾患、肝周囲炎を起こす（しかし男女とも、症状が軽く自覚のないことも多い）。

また、子宮外妊娠、不妊、流産の誘因ともなる。妊婦が感染している場合には、主として産道感染により、新生児に封入体結膜炎を生じさせることがある。また、1～2か月の潜伏期を経て、新生児、乳児の肺炎を引き起こすことがある。淋菌との混合感染も多く、淋菌感染症の治癒後も尿道炎が続く場合には、クラミジア感染症が疑われる。

(3) 届出基準

ア 患者（確定例）

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から性器クラミジア感染症が疑われ、かつ、(4)の表の左欄に掲げる検査方法により、性器クラミジア感染症患者と診断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を月単位で、翌月の初日に届け出なければならない。

この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、それぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

スクリーニングによる病原体・抗原・遺伝子に関する検査陽性例は報告対象に含まれるが、抗体陽性のみ場合は除外する。

イ 感染症死亡者の死体

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見から、性器クラミジア感染症が疑われ、かつ、(4)の表の左欄に掲げる検査方法により、性器クラミジア感染症により死亡したと判断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を月単位で、翌月の初日に届け出なければならない。

この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、それぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

(4) 届出のために必要な検査所見

検査方法	検査材料
分離・同定による病原体の検出	尿道、性器から採取した材料
蛍光抗体法又は酵素抗体法による病原体の抗原の検出	
PCR法による病原体の遺伝子の検出	
抗体の検出（ペア血清による抗体陽転又は抗体価の有意の上昇、又は単一血清で抗体価の高値）	血清

2 性器ヘルペスウイルス感染症

(1) 定義

単純ヘルペスウイルス (herpes simplex virus: HSV, HSV 1型又は2型) が感染し、性器又はその付近に発症したものを性器ヘルペスという。

(2) 臨床的特徴

性器ヘルペスは、外部から入ったウイルスによる初感染の場合と、仙髄神経節に潜伏しているウイルスの再活性化による場合の2つがある。

初感染では、感染後3～7日の潜伏期の後に外陰部に小水疱又は浅い潰瘍性病変が数個ないし集簇的に出現する。発熱などの全身症状を伴うことが多い。2～4週間で自然に治癒するが、治癒後も月経、性交その他の刺激が誘因となって、再発を繰り返す。発疹は外陰部のほか、臀部、大腿にも生じることがある。

病変部位は男性では包皮、冠状溝、亀頭、女性では外陰部や子宮頸部である。口を介する性的接触によって口唇周囲にも感染する。HSV 2型による場合は、より再発しやすい。

(3) 届出基準

ア 患者（確定例）

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から性器ヘルペスウイルス感染症が疑われ、かつ、(4)により、性器ヘルペスウイルス感染症患者と診断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を月単位で、翌月の初日に届け出なければならない。

明らかに再発であるもの及び血清抗体のみ陽性のものは除外する。

イ 感染症死亡者の死体

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見から、性器ヘルペスウイルス感染症が疑われ、かつ、(4)により、性器ヘルペスウイルス感染症により死亡したと判断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を月単位で、翌月の初日に届け出なければならない。

(4) 届出のために必要な臨床症状

男女ともに、性器や臀部にヘルペス特有な有痛性の1から多数の小さい水疱性又は浅い潰瘍性病変を認めるもの
--

3 尖圭コンジローマ

(1) 定義

尖圭コンジローマは、ヒトパピローマウイルス(ヒト乳頭腫ウイルス、HPV)の感染により、性器周辺に生じる腫瘍である。ヒトパピローマウイルスは80種類以上が知られているが、尖圭コンジローマの原因となるのは主にHPV6型とHPV11型であり、時にHPV16型の感染でも生じる。

(2) 臨床的特徴

感染後、数週間から2～3か月を経て、陰茎亀頭、冠状溝、包皮、大小陰唇、肛門周囲等の性器周辺部に、イボ状の小腫瘍が多発する。腫瘍は、先の尖った乳頭状の腫瘤が集簇した独特の形をしており、乳頭状、鶏冠状、花キャベツ状等と形容される。尖圭コンジローマ自体は、良性の腫瘍であり、自然に治癒することも多いが、時に癌に移行することが知られている。特に、HPV16, 52, 58, 18型などに感染した女性の場合、子宮頸部に感染し、子宮頸癌の発癌要因になることもあると考えられている。

(3) 届出基準

ア 患者(確定例)

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から尖圭コンジローマが疑われ、かつ、(4)により、尖圭コンジローマ患者と診断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を月単位で、翌月の初日に届け出なければならない。

イ 感染症死亡者の死体

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見から、尖圭コンジローマが疑われ、かつ、(4)により、尖圭コンジローマにより死亡したと判断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を月単位で、翌月の初日に届け出なければならない。

(4) 届出のために必要な臨床症状

男女ともに、性器及びその周辺に淡紅色又は褐色調の乳頭状、又は鶏冠状の特徴的病変を認めるもの

4 淋菌感染症

(1) 定義

淋菌 (*Neisseria gonorrhoeae*) による性感染症である。

(2) 臨床的特徴

男性は急性尿道炎として発症するのが一般的であるが、放置すると前立腺炎、精巣上体炎となる。後遺症として尿道狭窄が起こる。

女子は子宮頸管炎や尿道炎を起こすが、自覚症状のない場合が多い。感染が上行すると子宮内膜炎、卵管炎等の骨盤内炎症性疾患を起こし、発熱、下腹痛を来す。後遺症として不妊症が起きる。

その他、咽頭や直腸などへの感染や産道感染による新生児結膜炎などもある。

(3) 届出基準

ア 患者（確定例）

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から淋菌感染症が疑われ、かつ、(4)の表の左欄に掲げる検査方法により、淋菌感染症患者と診断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を月単位で、翌月の初日に届け出なければならない。

この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、それぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

イ 感染症死亡者の死体

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見から、淋菌感染症が疑われ、かつ、(4)の表の左欄に掲げる検査方法により、淋菌感染症により死亡したと判断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を月単位で、翌月の初日に届け出なければならない。

この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、それぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

(4) 届出のために必要な検査所見

検査方法	検査材料
分離・同定による病原体の検出	尿道及び性器から採取した材料、眼分泌物、咽頭拭い液
鏡検による病原体の検出	
蛍光抗体法による病原体の抗原の検出	
酵素抗体法による病原体の抗原の検出	
PCR法による病原体の遺伝子の検出	

5 膣トリコモナス症

(1) 定義

膣トリコモナス原虫により引き起こされる、男性及び女性の性感染症としての陰部感染症。

(2) 届出のために必要な検査所見

検査方法	検査材料
無染色標本の鏡検、培養検査、遺伝子学的検査	尿道の膿汁、初尿の沈査、膣分泌物

別添1

感染症サーベイランスシステム定点報告入力時の留意事項 ver2.1(令和7年12月版)

STD（性感染症）定点

① ログイン後、感染症発生動向調査→報告業務→定点報告（月報）を選択します

【留意事項】
 ■厚生労働省の集計作業中は定点報告の閲覧・登録ができません。
 入力内容を一時保存し、スタンプ集計終了後（最大90分後）に再度操作を行ってください。
 ■該当がない場合も「ゼロ報告」をお願いいたします。

② STD定点を選択します。

③ カレンダーボタンを押下し、調査期間を選択します。
 ※報告週の対応表は国立健康危機管理研究機構のHPから確認可
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

④ 定点種別、調査期間の選択後、新規登録ボタンを押下します。

⑤ 各疾患の年代別人数を半角数字で入力します。該当のない疾患、年代は0を入力するか、空欄のままにします。

⑥ 各人数の入力後、合計計算ボタンを押下します。

⑦ 合計ボタンを押下すると合計人数が計算されるため、入力した人数の合計と表示されている合計人数が一致しているかを確認します。

過去の報告内容を確認する場合は、定点種別、調査期間の選択後、検索ボタンを押下します。

空欄部分には自動的に0が入力されます。

性別	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

合計
NaN
NaN

全角数字等が入った状態で「合計計算」を押下すると、合計値がエラーとなりますので、半角数字に修正の上、再度「合計計算」ボタンを押下してください。

備考

全角128文字以内

⑧コメント等がある場合は備考欄に入力します。改行は一文字としてカウントされます。

戻る 合計計算 **登録**

定点入力対象

調査期間: 2022年10月 (2022/10/01 ~ 2022/10/31)

保健所: 137100 | 多摩府中

定点医療機関: 130000738 | テスト病院 産婦人科

⑨全ての入力が完了したら、画面右上の登録ボタンを押下します。

ブラウザ印刷を行い、入力内容の確認は行いましたか？データの登録を行います。よろしいですか？

キャンセル OK

⑩確認画面が表示されますので、登録する場合はOK、入力画面に戻る場合はキャンセルを押下します。（ブラウザ印刷は必須ではありません。必要に応じてご対応ください）

検索条件

保健所: 東京都 | 保健所: 137100 | 多摩府中 | 定点種別: STD定点

定点医療機関: 130000738 | テスト病院 産婦人科 | 調査期間: 2022年09月

検索: すべて | 検索

新規登録

登録した内容を確認する場合は、定点種別、調査期間を選択し、検索ボタンを押下します。

検索結果 1件

調査期間	月	定点医療機関	定点種別	状態
2022/10/01 ~ 2022/10/31	10	テスト病院産婦人科	STD定点	入力済

検索結果に表示された結果の「定点種別」（青字箇所）を選択すると、入力内容が確認できます。

状態が「入力済」のデータは修正可能です。修正を行う場合は「定点種別」（青字箇所）を選択すると入力画面が表示されるため、修正して再度登録ボタンを押下します。なお、状態が「報告済」のデータを修正する場合は、医療機関からの修正ができないため、管轄の保健所へ連絡してください。

届出対象者の該当がなかった月の報告方法

戻る 合計計算 **登録**

定点入力対象

調査期間: 2022年10月 (2022/10/01 ~ 2022/10/31)

保健所: 137100 | 多摩府中

定点医療機関: 130000738 | テスト病院 産婦人科

性器クラミジア感染症

性別	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
男																
女																

合計: 09月合計 08月合計 07月合計

0 0 0 0

0 0 0 0

全疾患・全年代を空欄のまま、登録ボタンを押下します。（全てに0を入力して登録することも可能です）

別記様式5

感染症発生动向調査 (STI 定点)

月報

調査期間 令和 年 月 日 ~ 年 月 日

医療機関名:

	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上	合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
性器クラミジア感染症																		
性器ヘルペスウイルス感染症																		
尖圭コンジローマ																		
淋菌感染症																		
膺トリコモナス症																		

定点医療機関からのコメント	
---------------	--

別記様式5

記入例① 通常の報告

感染症発生動向調査（STI定点）

月報

調査期間 **令和4年4月1日** ~ **令和4年4月30日**

医療機関名: **△△クリニック**

	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
性器クラミジア感染症						1	2	2	2	5	4	2	1				17
性器ヘルペスウイルス感染症							3					1					4
尖圭コンジローマ						1		1				1					3
淋菌感染症															1		8
膺トリコモナス症						1											1

定点医療機関からのコメント

50~54歳 男1名 ヘルペスとコンジローマの重複感染でした。

記入例② 該当患者が一人もない場合
(全日休診の場合を除く)

感染症発生動向調査 (S T I 定点)

月報

調査期間 **令和4年4月1日** ~ **令和4年4月30日**

医療機関名: **△△クリニック**

	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上	合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
性器クラミジア 感染症																		
性器ヘルペス ウイルス感染症																		
尖圭 コンジローマ																		
淋菌感染症																		
膺トリコモナス 症																		

定点医療機関からの コメント	全て0件
-------------------	-------------